

？ 三重小学校区まちづくり協議会とは

三重地区で活動する自治会をはじめとしたさまざまな団体や住民の皆さん同士が話し合い、チームとなって、地域にある様々な課題を解決するのが「三重小学校区まちづくり協議会」です。

このまちづくり計画には、すぐできることもあれば、時間がかかることや自分たちだけでは難しいことも含まれています。

それでも、できることから少しずつ、できる範囲で、住民の皆さんの想いをカタチにしたこの計画を実行できるよう、三重小学校区まちづくり協議会でまちづくりをしていきます。

▶ 話し合いの場の様子（まちづくり計画ができるまで）

第1回 まちの現状について自由に話し合う+地区の将来像を考える（R5.1.29）
三重地区の“いいところ”や“心配なところ”について自由に話し合い、地区全体の将来像を考えました。

第2回 分野ごとの将来像を考える+分野ごとの取り組みを考える（R5.3.25）
「三重地区のまちづくり計画（イメージ）」を見ながら、5つの分野に分かれて現状（課題）や分野ごとの将来像、自分たちにどんなことができるかを話し合いました。



👥 これまでご協力いただいた団体のみなさま

三重地区連合自治会、馬場自治会、マリンヒル三京自治会、東上自治会、角上自治会、崎上自治会、角自治会、東椋山自治会、西椋山自治会、三重田自治会、日田尾自治会、長谷自治会、才木自治会、三重小学校区青少年育成協議会、子どもを守るネットワーク、三重小学校育友会、睦会（角老人クラブ）、三重地区民生委員児童委員協議会、三重小学校運営委員会、長崎市消防団三重地区本部、長崎市子育て支援センターとして、長崎市立三重小学校、長崎市立三重中学校、長崎市少年センター補導委員（三重中学校区）、長崎市スポーツ推進委員（三重中学校区）、三重小学校図書ボランティア、三重郵便局、長崎西彼農業協同組合三重支店、新三重漁業協同組合、長崎市北部商工会、長崎市三重・外海地域包括支援センター



＜三重小学校区のめざす将来像＞
海がみえる 笑顔がみえる
みえたみえたよ明るい未来
～いつまでも みんなでつながる
三重のまち～



地域のみなさんから
出された意見は
こちらから↓



発行元 三重小学校区まちづくり協議会
発行日 令和5年7月

①分野	②テーマ	③目指す将来像	④課題等	目指す将来像を実現するために必要な取り組み	
				⑤対応方針	⑥既存の取組み
A 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ◆交流 ◆産業 ◆地域運営 ◆特産物 ◆若者定住 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間・地域間の交流が活発におこなわれるまち ・一次産業を大切にするまち 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地区内の世代間、地域間のコミュニケーションが少ない。 2 耕作放棄地が増え、農地が十分に活用されていない。 3 地域内の集いの場所がない。 4 若い人が定住しにくい環境である。 5 空き家の問い合わせがあるが、貸せる空き家がない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 色々な世代の意見を聞きながら、子どもから高齢者まで参加できるイベントをする。 2 耕作放棄地を減らし、農地の規模拡大の方策について検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ①西彼農協や市農業委員会と連携し、課題を共有する。 ②西彼農協や市農業委員会と連携し、農地の大規模化について検討する。 ③学校等に呼び掛け、耕作放棄の解消が可能な農地から米作等を開始する。 3 公民館をみんなが集える場所にする。 4 今ある行事を若い人の発想を加えることで、若者の参加を増やす。 5 空き家や空き農地の整理を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①希望者に貸し出すマッチングを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・秋まつり、夏まつり ・公民館まつり(2月) ・ミニ発表会(それぞれのサークルの発表の場)公民館まつりの代わり ・くんち ・ペーロン ・敬老会 ・盆踊り ・朝のあいさつ ・運動会
B 伝統 歴史	<ul style="list-style-type: none"> ◆伝統 ◆歴史 ◆行事 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統と歴史を大切に育てるまち ・伝統が地域を支えるまち ・ペーロンで息づくまち 	<ol style="list-style-type: none"> 1 歴史資料を展示している施設がなく、地域の歴史を次世代に継承する環境を充実させる必要がある。 2 地域での行事は、主催する側では担い手が限られ負担が重く、参加する側では若い人たちの支持が広がらず、世代間・地域間交流の足掛かりとなれていない。 3 伝統行事を復活してほしいが、継承できるのか心配である。また、少子高齢化により自治会単位での伝統芸能の継承が困難。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 既存施設を活用して歴史資料の展示スペースを設けることについて、施設所有者と協議する。 <ul style="list-style-type: none"> ①三重地区公民館に展示スペースを設置できないか同館と協議する。 2 各自治会で個別に開催している行事を統合し担い手を広げ、一人ひとりの負担軽減を図るとともに、若い人の発想をもとに若い人が楽しむ内容を取り入れることで参加者を増やし、地域行事の開催を通じた世代間・地域間の交流の活性化を図っていく。 <ul style="list-style-type: none"> ①盆踊等の伝統芸能の継承に他の自治会からも参加できるようにする。 ②ペーロンを地域全体で開催する ③行事の企画段階から若者が参画できるようにする。 3 伝統芸能を残していけるような取り組みを行い、伝統行事の参加者(他の地域含む)を増やしていく。 <ul style="list-style-type: none"> ①三重地区の伝統・歴史などをPRする。 ②伝統行事にマリンヒル地区からの参加を呼び掛ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーロン ・盆踊り、浮立 ・近海丸の読み聞かせ ・歴史本作成(郷土誌) ・くんち 舞姫5～6年生 ・龍おどり
C 生活 環境	<ul style="list-style-type: none"> ◆空き家 ◆環境整備 ◆交通 ◆ゴミ ◆お店 	<ul style="list-style-type: none"> ・三重の豊かな自然と美しい景観を一人ひとりが責任をもって守るまち ・高齢者から子どもまで地域内で日常生活に必要な移動ができるまち ・空き家が増えないまち 	<ol style="list-style-type: none"> 1 三重地区は自然が豊かであるのに、ゴミやポイ捨てが多く、海や山の景観が大きく損なわれている。 2 公園や通学路に雑草が繁茂しても自治会、育友会単独では担い手や資金面から十分な草刈りができず、利用する児童・生徒が草で切っけがをしたり害虫に刺されるなどの懸念がある。また、景観上・防犯上も好ましくない。 3 買い物や通院、通学などの交通の便が悪く、生活に支障をきたしている。 4 空家が増加し活用が進まず、地域の衰退感を強めている。 5 気軽に行ける範囲に商店や書店などがなく、今後も新たな出店、開業等が期待できない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 既存の取り組みにおいて、様々な世代でさらに参加の輪が広がることで、豊かな自然と景観を守るとともに、捨てない意識、捨てずらい環境を創出する。 <ul style="list-style-type: none"> ①育成協が中心となって実施している海岸清掃に、さらに大人と子・や孫が楽しみとする工夫を加える。 2 公園や通学路の草刈りの担い手を増やし、頻度を高め、雑草の繁茂を可能な限り抑える。 <ul style="list-style-type: none"> ①草刈り機の燃料を提供するなど参加者の経済的負担を軽減しながら、老人クラブや児童・生徒の保護者など関係団体と協力しながら参加者の輪を広げる。 3 コミュニティバスの実現に向けた検討を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ①各自治会で公共交通のニーズを把握し、持ち寄って集約する。 ②集約したニーズを基に地域が目指す「公共交通のあり方」を協議会で検討する。 4 空家・空地の所有者と借りたい人とをつなげる仕組みを検討する。 5 出店や商品販売、物品等の交換・譲渡をしようとする人ができるだけ少ない経費や労力で活動できるよう、側面的な支援に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ①閉店した「はまいそ」を活用した海産物や野菜等の直売所の設置について、新三重漁協への働き掛けを検討。 ②三重地区公民館を活用した本の譲渡会の開催等について、検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(空き家)防犯防災のため樹木の伐採等対応 ・個人での草払い、負担大！！ ・子どもが少ないので保護者も少ない ・自治会、老人会、草払いしてる ・海岸清掃、個人で、団体で ・三重田自治会で海岸、川清掃 ・イノシシ駆除、捕獲隊
D 子育て	<ul style="list-style-type: none"> ◆子育て ◆遊び場 ◆見守り 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域でのあいさつや見守りを通じてこれからも安心して子育てができるまち ・次の時代を担う子どもたちに農業の大切さを伝え、継承するまち 	<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもたちが地域から見守られている安心感があり、子育てのしやすさにつながっている。 2 自然に囲まれ農業が盛んな地域であるのに将来の担い手である子どもたちが農業に触れる機会が十分でない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域でのあいさつや見守りを今後も継続し、子育て世代が子育てしやすいと感じ続けられるよう取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ①学校と連携し、児童生徒の登下校時に高齢者が家の玄関先等で気軽に見守りや挨拶、声掛けをする取り組みを始める。 ②ふるさと見守り塾が困っていること(サポーターの充実)を応援(広報支援)する。 2 地域の担い手が子どもたちに農業を継承する取り組みを強化し子どもたちの農業への関心を高めるとともに、農業に携わる切っ掛けをつくる。 <ul style="list-style-type: none"> ①学校と連携し、地域の担い手による米づくりの継承の取り組みを始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアで交代でしている ・高齢者の方が普段の生活の中で見守りになっている
E 安心 安全	<ul style="list-style-type: none"> ◆防犯 ◆防災 ◆高齢者 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで安心安全に住み続けられるまち 	<ol style="list-style-type: none"> 1 独居高齢者等の災害時の避難に不安を抱えている。 2 防災無線が聞き取りにくい区域があり、災害時の対応に不安がある。 3 老朽危険空家で近隣の生活や通行に不安を与えている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 避難対応や防災訓練の実施について検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ①自治会、民生委員を中心に、地元消防団や北消防署と災害時の避難対応や防災訓練の実施について検討する。 ②民間施設の災害時の避難者受入れについて、所有者に協議を働き掛ける。 2 個別受信機が行き渡るための対策を検討する。 3 地域で情報を共有し、注意喚起を継続する。 <ul style="list-style-type: none"> ①広報等で老朽危険空家の状況を地域に伝えるとともに、特に子どもたちが空家に立ち入ったりしないよう地域全体で注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「0」の付く日は、保護者が立哨 ・食事サービス時、包括センター＆警察からの詐欺等の話し ・100人パトロールで危険な場所を見つけた ・災害のとき、「消防団の活用・自治会・民生委員」協力して情報共有